

第八十回句会 俳句

【高点句】

- ☆老木の下枝(しずえ)の長く花盛り 〈明美〉
☆花影を大きく揺らし鯉の口 〈美保〉
☆裏を見て振つてみて買ふ種袋 〈美保〉

【各自一句】

- ・騙される喜びのあり四月馬鹿 〈莫院〉
・車椅子寄り添ふやうに花の下 〈眞澄〉
・バス停の切株あの日見た桜 〈撫子〉
・下駄箱の名前の掠れ春休 〈郁代〉
・禁煙の三日続かず四月馬鹿 〈明美〉
・転勤の報にあたふた四月馬鹿 〈伸子〉
・女前下がりし朝の春の雷 〈美保〉
・採扱の真偽を訝る四月馬鹿 〈隆司〉
・春暁や湯音に交じる鳩の声 〈青蛙〉
・幼子の手に一片のさくらかな 〈哲雄〉
・笑い合う眼裏の友四月馬鹿 〈安津子〉
・四月馬鹿手ぐすね引いてみたけれど 〈一馬〉
・グランピング桜の中のかくれんぼ 〈緑〉

*以上、39句(3句ずつ12名と2句が1名、1句が1名)より、選句は15名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句(今回は第1位が同点で2句)

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による(得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載/1名は掲載辞退)